

政策番号	25	政策分野	道と緑
------	----	------	-----

基本方針 市民の視点に立った道路、橋りょう、公園等の社会資本の整備及び市民や行政が一体となった維持管理、補修を行うことにより、山紫水明の地の風土や千年の都としての歴史と調和した道と緑を創造する。

担当局	建設局	共管局	
-----	-----	-----	--

政策の評価

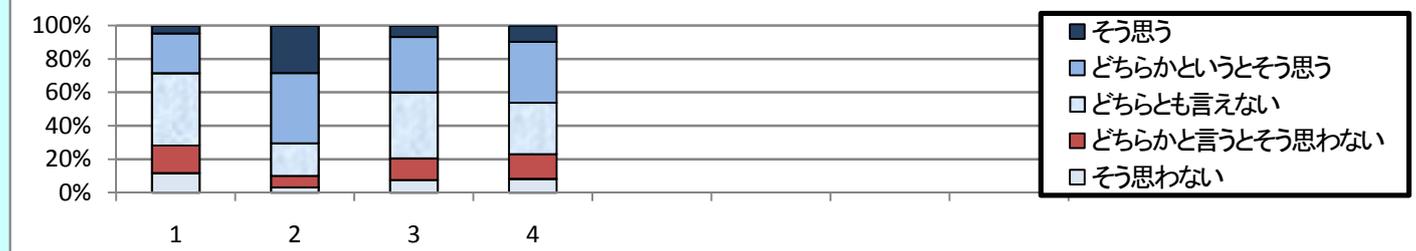
1 客観指標評価

指標名	23年度 評価値	32年度 目標値	年度	年度	23年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 第1次緊急輸送路における都市計画道路の整備延長及び道路改良延長(km)	1.74	2.8	-	-	1.12	1.74	2.57	67.7%	b
2 緑視率10%以上の箇所数(箇所)	24	37	-	-	-	24	37	64.9%	c
3 道路、橋りょうへのアセットマネジメント導入率(%)	16	100	-	-	16	16	8.4ポイント増	0.0%	e
4 土地区画整理事業によるまちなみ整備率(%)	65.4	72.7	-	-	64.2	65.4	65	150.0%	a
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価									c

※緑視率…人の目の高さにおける、目に見える範囲の緑の割合
 ※予防管理型管理手法(アセットマネジメント)…既存の社会資本の計画的な延命化を図る予防保全型の維持管理手法

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	年度	23年度
1	災害時も安全に移動できる道路網ができています。	-	-	c
2	京都是緑が豊かである。	-	-	a
3	市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	-	-	c
4	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	-	-	c
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価				b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		年度		23年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	-	-	16	14.0%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている	年度	
	<p>【客観指標】・災害時等の緊急輸送路の道路改良延長距離数は、厳しい財政状況の下、目標を下回り、b評価となった。</p> <p>・緑視率の向上は、平成22年度から開始した取組であり、初年度はc評価となった。</p> <p>・道路等へのアセットマネジメントの導入率は、100%の完全導入を目標とする一方、徒歩等での点検を要することなどから、e評価となった。この導入については、高度経済成長期に整備した社会資本が、近い将来、大規模な補修や更新の時期を迎えることとなるため、喫緊の課題となってきている。</p> <p>・土地区画整理事業によるまちなみ整備率は、伏見西部第四地区等で取組を進めた結果、目標を上回り、a評価となった。</p>	年度	-
	<p>【市民の実感】・「どちらとも言えない」とする回答が多数を占める中、京都の緑の豊かさについては評価が高く、山紫水明といった京都の強みが反映された結果となった。</p> <p>【総括】・市民の実感が客観指標を上回る結果となった。</p> <p>・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。</p>	年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
				23	
2501	幹線道路ネットワークの充実	-	-	B	265
2502	健やかな生活が実感できる緑化の推進	-	-	B	269
2503	都市活動を支える社会資本の維持管理	-	-	C	271
2504	まちなみにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備	-	-	C	273

<今後の方向性>

- ・平成20年6月に「京都市建設局中長期運営方針<2008～2017>」を策定し、これまでに整備してきた社会資本ストックを有効に活用するとともに、事業の選択と集中により、真に必要な社会資本整備を推進していくこととしている。
- ・平成22年3月に策定した「京都市緑の基本計画」及び平成23年5月に策定した「第1次 京のみどり推進プラン」に基づき、市街地の緑の創出や水と緑のネットワークづくりを進めることとしている。「緑視率」の向上を目標に掲げ、市街地での市民の緑に対する満足度に寄与することとしている。
- ・平成23年3月の東日本大震災の発生を受けて、災害時の緊急輸送道路や重要橋りょう、防災機能を備えた公園等の整備が課題となってくる。

政策名	25	道と緑
-----	----	-----

指標名	第1次緊急輸送路における都市計画道路の整備延長及び道路改良延長 (km)
-----	--------------------------------------

担当部室	道路建設部 事業推進室	連絡先	222-3577 213-3659
------	----------------	-----	----------------------

1 指標の説明

他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線の道路改良延長

2 指標の意味

真に必要な路線の整備を計画的に進めることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：(執行事業費÷総事業費)×計画総延長
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	1.74	2.8	ほぼ完全整備(99.9%)を目指す。

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
数値	1.12	1.74	0.62km増	2.57	当該年度の目標整備延長(予算額÷総事業費)×計画総延長の達成を目指す。	67.7%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a: 80%以上
b: 60%以上80%未満
c: 40%以上60%未満
d: 20%以上40%未満
e: 20%未満

6 基準説明

道路改良延長を総事業費に係る執行事業費の割合に計画総延長を乗じること
で算出し、当該年度の目標整備延長と
比較して達成度が80%以上の場合をa、
以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	b

指標名	緑視率10%以上の箇所数(箇所)
-----	------------------

担当部室	水と緑環境部	連絡先	222-3589
------	--------	-----	----------

1 指標の説明

市街地に設けた計測地点(37箇所)における緑視率(人の目の高さにおける目に見える範囲の緑の割合)が10%以上の箇所数

2 指標の意味

きめ細かな緑のネットワークの形成をめざして、市民の満足度に寄与する緑の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：高さ1.5mに据えたカメラを用いて水平に撮影した写真の視野にある緑の割合を計測(単位は%)
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	24	37	すべての計測箇所について、緑視率10%以上を維持する。 (平成22年度計測時における10%以上の箇所は24箇所)

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	年度	22年度		数値	根拠	
数値	-	24		-		-

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
37		27年度	64.9%	次回計測は平成27年度を予定しており、次回計測時には37箇所とする。	

5 評価基準

最新数値の中長期目標値に対する達成度が
a: 100%
b: 75%以上~100%未満
c: 50%以上~75%未満
d: 25%以上~50%未満
e: 25%未満

6 基準説明

当該指標については、目標とする37箇所すべてにおいて緑視率10%以上を達成できた場合を100%とし、以下25%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	c

政策名	25	道と緑
-----	----	-----

指標名	道路、橋りょうへのアセットマネジメント導入率（％）	
-----	---------------------------	--

担当部室	土木管理部	連絡先	222-3568
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

施設の中長期的な劣化予測を行うとともに、予算的制約の下でいつどのような対策を、どこで行うのが最適であるか体系的に意思決定する手法を、道路舗装・橋りょうに導入した率

2 指標の意味

道路や橋りょうといった市民生活に不可欠な社会資本の計画的・効果的な保全状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：点検済延長÷管理道路延長
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 16	平成32年度目標値 100	根拠 完全導入を目指す。
----------------------	-----------------	------------------	-----------------

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	16	16	増減なし	8.4ポイント増	残年数内に完全実施するために必要な単年度の進ちょく割合	0.0%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、道路・橋りょうの状況により、実施優先度などを考慮し、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	e

指標名	土地区画整理事業によるまちなみ整備率（％）	
-----	-----------------------	--

担当部室	都市整備部	連絡先	213-3537
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

施行中の土地区画整理事業地区において、事業が進み良好なまちなみが形成された区域の面積割合を、予算の執行状況により示したものの

2 指標の意味

「魅力ある都市空間の形成」に向けた土地区画整理事業の進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：施行中地区で、各年度の事業費執行額を施行済面積に換算して事業当初から積み上げた累計値を全体地区面積で割った率
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 65.4	平成32年度目標値 72.7	根拠 施行中土地区画整理事業628ha（8地区）のうち、298ha（5地区）の施行完了及び残り3地区について一定の事業進ちょくを目指す。
----------------------	-------------------	-------------------	---

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	64.2	65.4	1.2ポイント増	65.0	(10年後の目標数値-前回数値)÷前回数値計測時点での残年数+前回数値	150.0%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	

5 評価基準

単年度の目標値に対する達成度が、
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

まちなみ整備率を指標として、各年度での最新数値と単年度目標値の前回数値からの伸び分を率化し、これが80%以上となる場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。
※達成度 = (最新数値 - 前回数値) / (目標値 - 前回数値) × 100

7 評価結果

		23
-	-	a